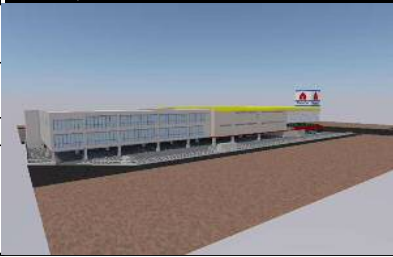


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)テックランド一宮店	階数	地上3F
建設地	愛知県一宮市下沼町四丁目 11番地	構造	S造
用途地域	準工業地域・第1種住居地域、22条	平均居住人員	30人
気候区分	6地域	年間使用時間	3,810時間/年
建物用途	物販店・工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年1月 予定	評価の実施日	2019年4月9日
敷地面積	6,378 m ²	作成者	中野豊明
建築面積	1,773 m ²	確認日	2019年4月9日
延床面積	5,233 m ²	確認者	中野豊明



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 0.5 ★★☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	85%
③上記+②以外の	85%
④上記+	85%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q のスコア = 2.1

Q1 室内環境

Q1のスコア= 2.3

音環境	1.5
温熱環境	1.9
光・視環境	2.9
空気質環境	3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.7

機能性	2.0
耐用性	2.9
対応性	3.6

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア= 1.4

生物環境	1.0
まちなみ	1.0
地域性・	2.5

LR のスコア = 2.6

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 2.6

建物外皮の	1.0
自然エネ	3.0
設備システ	3.1
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.7

水資源	3.4
非再生材料の	2.5
汚染物質	2.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 2.7

地球温暖化	3.5
地域環境	1.9
周辺環境	2.7

3 重点項目

①地球温暖化への配慮

3.5

③敷地内の緑化

1.0

外構緑化指数(外構緑化面積/外構面積)

0.0 %

建物緑化指数(建物緑化面積/建築面積)

0.0 %

②資源の有効活用

2.8

④地域材の活用

1.0

<外装材に使用した地域性のある材料>

なし

<建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材>

なし

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

①地球温暖化への配慮
 LR-3 1 地球温暖化への配慮
 ②資源の有効活用
 Q-2 2 耐用性・信頼性、Q-2 3 対応性・更新性
 LR-2 2 非再生性資源の使用量削減
 ③敷地内の緑化
 Q-3 1 生物環境の保全と創出

外構緑化指数 = $\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積} - \text{建物面積} - \text{附属物面積}} \times 100$

建物緑化指数 = $\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建物によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}} \times 100$

みんなの環境活動を応援しています

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部							建物全体・共用部		居住・宿泊部分		全体
配慮項目	独自基準 重点項目	環境配慮設計の概要記入欄			評価点	評価点	重み係数	評価点	評価点	重み係数	評価点	評価点	重み係数	全体	
		Q 建築物の環境品質													
Q1 室内環境														2.3	
1 音環境															
1.1 室内騒音レベル														1.5	
1.2 遮音														1.0	
1 開口部遮音性能														1.0	
2 界壁遮音性能														3.0	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)														-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)														-	
1.3 吸音														3.0	
高性能グラスウールを採用し、外壁面に充填した														0.20	
2 温熱環境														1.9	
2.1 室温制御														2.3	
1 室温														2.0	
2 外皮性能														2.0	
3 ソーン別制御性														3.0	
2.2 湿度制御														1.0	
2.3 空調方式														2.0	
3 光・視環境														2.9	
3.1 昼光利用														3.0	
1 昼光率														-	
2 方位別開口														-	
3 昼光利用設備														3.0	
3.2 グレア対策														3.0	
1 昼光制御														3.0	
3.3 照度														1.0	
3.4 照明制御														3.0	
4 空気質環境														3.0	
4.1 発生源対策														3.0	
1 化学汚染物質														3.0	
4.2 換気														3.0	
1 換気量														3.0	
2 自然換気性能														3.0	
3 取り入れ外気への配慮														3.0	
4.3 運用管理														3.0	
1 CO ₂ の監視														3.0	
2 喫煙の制御														3.0	
Q2 サービス性能														2.7	
1 機能性														2.0	
1.1 機能性・使いやすさ														1.4	
1 広さ・収納性														3.0	
2 高度情報通信設備対応														3.0	
3 バリアフリー計画														1.0	
1.2 心理性・快適性														2.3	
1 広さ感・景観 (天井高)														4.0	
2 リフレッシュスペース														2.0	
3 内装計画														1.0	
1.3 維持管理														2.5	
1 維持管理に配慮した設計														3.0	
2 維持管理用機能の確保														2.0	
2 耐用性・信頼性														2.9	
2.1 耐震・免震・制震・制振														3.0	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)														3.0	
2 免震・制震・制振性能														3.0	
2.2 部品・部材の耐用年数														3.0	
1 躯体材料の耐用年数														3.0	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔														3.0	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔														3.0	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔														3.0	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔														3.0	
6 主要設備機器の更新必要間隔														3.0	
2.4 信頼性														2.8	
1 空調・換気設備														3.0	
2 給排水・衛生設備														2.0	
3 電気設備														3.0	
4 機械・配管支持方法														3.0	
5 通信・情報設備														3.0	

3 対応性・更新性				3.6	0.29		-	3.6
3.1	空間のゆとり	②	階高を高くした 間仕切壁を無くし売場を大空間とした	5.0	0.31		-	
1	階高のゆとり			5.0	0.60		-	
2	空間の形状・自由さ			5.0	0.40		-	
3.2	荷重のゆとり			3.0	0.31		-	
3.3	設備の更新性			3.0	0.38		-	
1	空調配管の更新性			3.0	0.17		-	
2	給排水管の更新性	3.0	0.17		-			
3	電気配線の更新性	3.0	0.11		-			
4	通信配線の更新性	3.0	0.11		-			
5	設備機器の更新性	3.0	0.22		-			
6	バックアップスペースの確保	3.0	0.22		-			
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.33		-	1.4
1	生物環境の保全と創出	独自③		1.0	0.30		-	1.0
2	まちなみ・景観への配慮	独自④		1.0	0.40		-	1.0
3	地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30		-	2.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上	独自④		3.0	0.50		-	
3.2	敷地内温熱環境の向上			2.0	0.50		-	
LR 建築物の環境負荷低減性								2.6
LR1 エネルギー				-	0.40		-	2.6
1	建物外皮の熱負荷抑制			1.0	0.21		-	1.0
2	自然エネルギー利用			3.0	0.23		-	3.0
3	設備システムの高効率化			3.1	0.34		-	3.1
4	効率的運用			3.0	0.23		-	3.0
	集合住宅以外の評価			3.0	1.00		-	
4.1	モニタリング			3.0	0.50		-	
4.2	運用管理体制			3.0	0.50		-	
	集合住宅の評価			-	-		-	
4.1	モニタリング			-	-		-	
4.2	運用管理体制			-	-		-	
LR2 資源・マテリアル				-	0.30		-	2.7
1 水資源保護				3.4	0.15		-	3.4
1.1	節水			4.0	0.40		-	
1.2	雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60		-	
1	雨水利用システム導入の有無			3.0	0.67		-	
2	雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.33		-	
2 非再生性資源の使用量削減				2.5	0.63		-	2.5
2.1	材料使用量の削減	② 独自	-	2.0	0.07		-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.24		-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用			3.0	0.20		-	
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			1.0	0.20		-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材			3.0	0.05		-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み			3.0	0.24		-	
3 汚染物質含有材料の使用回避				2.7	0.22		-	2.7
3.1	有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.32		-	
3.2	フロン・ハロンの回避			2.6	0.68		-	
1	消火剤			2.0	0.33		-	
2	発泡剤(断熱材等)			3.0	0.33		-	
3	冷媒			3.0	0.33		-	
LR3 敷地外環境				-	0.30		-	2.7
1 地球温暖化への配慮		①		3.5	0.33		-	3.5
2 地域環境への配慮				1.9	0.33		-	1.9
2.1	大気汚染防止			3.0	0.25		-	
2.2	温熱環境悪化の改善			1.0	0.50		-	
2.3	地域インフラへの負荷抑制			2.7	0.25		-	
1	雨水排水負荷低減	独自		3.0	0.25		-	
2	汚水処理負荷抑制			3.0	0.25		-	
3	交通負荷抑制	独自	駐車、駐輪のスペースを大きく確保した	4.0	0.25		-	
4	廃棄物処理負荷抑制			1.0	0.25		-	
3 周辺環境への配慮				2.7	0.33		-	2.7
3.1	騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40		-	
1	騒音	独自		3.0	1.00		-	
2	振動	独自		-	-		-	
3	悪臭			-	-		-	
3.2	風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40		-	
1	風害の抑制			3.0	0.70		-	
2	砂塵の抑制			-	-		-	
3	日照障害の抑制			3.0	0.30		-	
3.3	光害の抑制			1.6	0.20		-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			1.0	0.70		-	
2	屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30		-	

重点項目スコアシート
 (仮称)テックランドー宮店

実施設計段階

■使用評価マニュアル

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き

■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)_AICHI

重点項目(配慮項目)		評価点	全体に対する 重み係数	重点項目スコア
① 地球温暖化対策				3.5
LR3-1	地球温暖化への配慮	3.5	0.10	
② 資源の有効活用				2.8
Q2-2	耐震性・信頼性	2.9	0.09	
Q2-3	対応性・更新性	3.6	0.09	
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	2.5	0.19	
③ 敷地内の緑化				1.0
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.10	外構緑化:0%/建物緑化:0%
④ 地域材の活用			(評価ポイント)	1.0
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-	なし
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-	なし

■重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化

重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 (評価点×全体に対する重み)の総和

重点項目スコア= 重みの総和

④地域材の活用

重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

■ 環境設計の配慮事項

■ 建物名称 (仮称)テックランド一宮店

計画上の配慮事項	
総合	お客様が使用しやすいスペース確保に努めた。
Q1 室内環境	売場の天井高を高くし、圧迫感の感じさせない設計とした。
Q2 サービス性能	増築部分に窓を大きく取り、開放感を取り入れた。
Q3 室外環境(敷地内)	空地スペースの確保に努めた。
LR1 エネルギー	増築部分の省エネルギーに努めた。
LR2 資源・マテリアル	解体部分を極力小さくし、廃棄物の量を減らした。
LR3 敷地外環境	駐車スペースを大きくしたことにより交通利用の利便性に努めた。
その他	注) 上記の6つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。